



ごあいさつ

5月15日から26日にかけて、5月議会が開催されました。神戸市民の皆さまからいただいたお声をもとに質疑を行い、神戸市から改善に向けた回答を得ることができました。

また、5月22日に開催された教育子ども委員会において、副委員長に就任いたしました。この委員会は、未来ある神戸の子どもたちに直接関わる施策を審議する重要な委員会です。その重責をしっかりと果たし、神戸の子どもたちのため、そして大好きな神戸をさらに前へ進めてまいります。

市民の声をカタチに

【市バス利用者の声を反映】

市バス64系統は、三宮と北区を結ぶ重要な路線ですが、今年4月のダイヤ改正後、朝夕の通勤時間帯に乗り切れない乗客が出るなど、「以前より混雑している」との声をいただいていた。そこで、北区選出の議員と課題を共有し、交通局に対して現状認識と対策について委員会での質疑を行いました。

交通局では、乗降データや車内映像を詳しく分析しており、一部の便で乗車率が高い状況を把握しているとのことでした。この回答を受け、現地調査を含めた更なる対策を求めたところ、今後は必要に応じて、ピンポイントでの増便も含めた対応を検討するとの回答があり、利用者の皆さまのお声を届けることができました。



【解体を前提とした原状回復に変更】

老朽化した市営住宅の再編に伴い、築40年を超え、エレベーターのない市営住宅の一部が廃止されることから、居住者の方々の住み替えが進められています。住宅を退去する際には原状回復の義務がありますが、退去後に取り壊すにもかかわらず、通常の退去時と同等の原状回復が求められていました。電気配線工事などは費用がかかり「負担が大きい」とのお声をいただいていた。



そこで、退去時のチェックリストを取り寄せ、解体を前提とした場合に不要となる項目を指摘し、見直しを求めました。その結果、増設したコンセントやインターホン、洗面化粧台、カーテンレール、改修した間仕切りなど、解体工事で処分可能なものについては、原状回復の対象から外されることとなり、退去者に寄り添った対応を実現しました。

【本庁舎2号館について】

令和4年末に市庁舎部分の整備費を110億円で事業者と契約しましたが、急激な建築資材・人件費高騰の影響から、約2倍となる216億円で契約金額の変更を議決しました。物価高で市民生活も大変な折に、106億円を増額し追加負担をお願いする以上、その必要性や妥当性について詳細に質疑を行いました。

その結果、現在2号館の代替として借りている民間賃貸オフィスの賃料が年間約10億円であること、今後も建築費の高騰が続くことから、再整備の延期や中止はかえって費用の増大や違約金が発生することから、必要な契約変更と判断しました。

【コラム】

本庁舎2号館が建設される場所は、都心三宮の再整備と再開発中のウォーターフロントの中間地点にあたり、更に旧居留地にも隣接するなど、都心部でも大変重要な中心的な位置になります。

そのため、庁舎機能だけでなく、ラグジュアリーホテルや商業施設、イベント開催が可能な市民利用空間など、まちのにぎわいを創出し、市民が交流するための重要な機能も備えられます。

【憲法記念日街頭演説】

5月3日の憲法記念日に合わせて、街頭演説を行いました。

今後も、国民主権、平和主義、基本的人権の尊重という憲法の基本原則を堅持することが重要であること、また、現下の物価高に対する早急な対策の必要性について訴えました。



みちがえる中央区

【中央緑地帯整備】

ポーアイ2期の医療センター前駅から南へ延びる中央緑地帯の整備が完成しました。緑地帯には、東屋や涼しげな水音が聞こえるせせらぎ、多様な休憩施設などが整備されています。この緑地帯は、ポートアイランド・リボンプロジェクトの一環として、猛暑対策や公共空間の高質化、エリア価値の向上を目的に整備されています。



【神戸駅前の再整備】

神戸駅前再整備の第一弾として、地下タワー式駐輪場が神戸市内で初完成し、供用が開始されました。

JR神戸駅山側では、「行きたい建物が見えていても、大回りをしないとたどり着かない」といった声が聞かれていましたが、駐輪場・バスロータリー・タクシー乗り場の再整備が順次進められ利便性が向上します。



公明党市会議員団控室

〒650-8570

神戸市中央区加納町6丁目5-1

TEL: 078-322-5842



YouTube



Instagram

